特集 SPECIAL

重森議員、景山議員が聴く

# 地域の活性化に取り組む 乃美別府住民自治協議会

表紙写真／話をお聞きした皆さん

**東広島市内でも中山間地域では超少子高齢化・過疎化が同時進行し、地域の維持が困難となりつつあります。**

**持続可能な地域の実現を目指し、さまざまな取組みに挑戦している豊栄町の乃美別府住民自治協議会の飛谷会長、爲平事務局長に活動内容を伺いました。**

## 持続可能なまちづくりを目指して

**Q　地域の課題やまちづくりの方向性について教えてください**

**飛谷会長**　町の人口が約三千人と激減しています。それに伴い①超少子高齢化（高齢化率48％）、②空き家の増加（空き家率20％）、③耕作放棄地の拡大、④有害鳥獣被害、⑤学校の統廃合、⑥過疎化の進展による限界集落化の懸念などで30年後の総人口はわずか400人との予測もあり、地域はまさに消滅の危機に直面。持続可能な地域の維持に向けての取組みが喫緊の課題となっています。

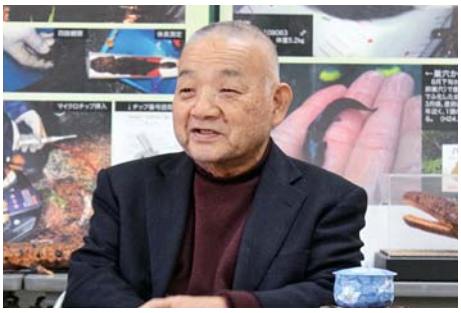
私の後任として対策の陣頭指揮に当たっていただいているのが乃美地域センター長の爲平さんで、自治協の事務局長も兼任されています。

**Q　具体的な活動内容を教えてください。**

**爲平事務局長**　自治協の従来の行事のみ継承するだけでは地域の活性化にはつながりません。新たな戦略と強い施策実現の意思が必要となります。私達の居住する乃美別府地域を含む豊栄町が「単なる通過点」として見るべきものが何もないという内外の評価に対して、①地域の宝物を探す②その宝物を活かしてイベント等を開催する③参加者に一分でも長く滞留してもらい、一円でも多くお金を地域に落としてもらう…という方式を基本路線として地域の魅力発信に努めてきました。

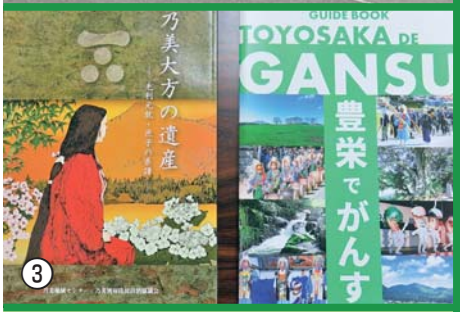
### プロフィール

乃美別府住民自治協議会
会長　飛谷（とびたに）　義榮さん



乃美別府住民自治協議会
事務局長　爲平（ためひら）　邦彦さん

表紙写真／話をお聞きした皆さん
前列　永岡文雄さん（左）　津島久利さん（右）
後列　川本　泉さん（左）　浅井裕行さん（中）　常田武則さん（右）



① 取材風景
② 板鍋山登山マラソン
③ 豊栄をPRする小冊子
④ 地域の宝物
「オオサンショウウオ」
⑤ ふるさと歴史ウォーキング

①地域のシンボル、標高757mの板鍋山（いたなべやま）を活用した広島県内初の登山マラソン大会の開催②戦国武将乃美氏三代が居城した山城である「茶臼山城跡」の復元③毛利元就継室「乃美大方伝承館」の設立など、地域の人達が思いもかけなかったことに果敢に挑戦してきました。もちろん、自治協の役員や有志の方々の協力、そして何といっても地域の皆様の理解と支援があったからこそ実現が可能となりました。

加えて〝水源の町　豊栄〟に生息する国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオの保護施設が乃美地域センター内に『オオサンショウウオの宿』として開設されました。これらの施策により「地域に眠る資源を発掘し、地域全体を博物館とする『エコミュージアム・イン・乃美の里』が形成」され、乃美を起点として豊栄町全体の観光客も増加傾向が見られます。今豊栄が面白いという声も聞かれるようになってきました。

**Q　今後、重視することについて教えてください。**

**飛谷会長**　何といっても空き家対策が一番です。実は私も移住者ですが、豊栄は空気・水・米などとてもおいしい所です。ここ数年で10世帯近い移住者を迎えていますが、町内の各自治協と連携して「空き家情報のネットワーク化」を図り、一人でも多くの転入者を受け入れることが地域の持続に直結します。

**爲平事務局長**　これまで紹介した取組みには、地元にある広島県立賀茂北高校の地域貢献の視点に立った連携・協力関係がありました。板鍋山登山マラソン大会は学校行事に位置づけられ、選手以外の生徒さんは役員として大会をサポートします。茶臼山城跡整備にも総合的学習で学年単位で協力。また地域の行事でも最近は神楽部などが出演して地域の活性化に貢献しています。生徒数激減のなか統廃合の危機に直面していますが、存続に向けて行政からの支援を期待しています。